

2019年(平成31年)3月18日(月曜日)

三島市ブランド協補助金問題

昨年12月に調査委設置

市は非公表 情報公開で判明

三島市のPRを行う任意団体で、市が事務局を務める「地域ブランド推進協議会」への補助金交付を巡り、市職員二人が刑事告発されている問題で、市が昨年十二月に内部調査委員会を設置し関係者に聞き取りをしていることが、本紙の取材や情報公開請求した文書で分かった。市は調査委設置を公表していない。豊岡武士市長は一月の記者会見では「警察が告発を受理するかどうかの判断を踏まえて検討する」と調査の実施を否定しており、事実と異なる説明をしていたことになる。

(佐久間博康)

情報公開された文書によると、調査委員会は昨年十二月の部長会議で設置が決定した。メンバーは委員長

の梅原薫副市長、部長三人、課長二人で構成。補助金交付の手続きの事実認定や、問題の発生原因を中心に調査し、二月までに市長に報告する予定となっていた。

調査委は昨年十二月十四日から今年一月二十九日までに会議を五回開催。既に職員十一人と外部の関係者一人に聞き取りをした。他の外部関係者にも今後聞き取りする方針。調査委の市長への報告は、警察の判断後としている。

文書には「審査会実施」で調査に依拠してもらった「済」の稟議書が起案・押印された経緯や、計画変更された補助金文書が日付をさかのぼって作成された経緯、当時の職場の雰囲気、など約七十点の質問項目が記されている。だが回答者と回答内容は全て黒塗りだった。「外部に出さない条件

で調査に依拠してもらった」(同市人事課)という。豊岡市長は取材に「警察の判断を待ちながら対応する、という意味で答えた」と思う。調査については副市長中心に進めているので、(一月の)記者会見の時点では進み具合を知らなかった」と述べた。



三島市地域ブランド推進協議会への補助金交付問題

補助金を交付するには審査会の開催が必要、と交付要領に定められているが、市は「2016年9月14日に協議会を開催し、その会議後、審査会

を実施し、審査員了承済(りんぎ)書を根拠に、9月28日に200万円の交付を決定した。だが、昨年11月の市議会で市産業文化部長が「審査会はないが、審査員がいた会議で話し合い、

了承を得た。欠席者には後で確認したので、審査会がなされたとみなした」と答弁。これを受け昨年12月、市民が「当時の地域活性化戦略監と産業振興部長の2人が審査会に関する虚偽の稟議書を作り補助金を不正

交付させた」と三島署に刑事告発した。この補助金を巡っては、17年2月の食のイベント「アモーレ(みしま)」の不足金を穴埋めするため、市が同年5月に後付けで計画を変更する書類を作成する問題も起きている。